DR. KIRAN BEDI

LONDON SPEAKER BUREAU

- **India’s first and highest ranking woman officer in the Indian Police Service**
- **Asian Nobel Peace Prize Winner**

Topics

- Asia
- India
- Leadership
- Motivation
- Strategy

Kiran Bediは、1972年にインドの警察に加わったインドで最初の最高ランクの女性警察官でした。彼女の経験と専門知識には、35年以上の厳しい、革新的で福祉のポリシングが含まれます。彼女はインドで最も尊敬されている女性で、全インド人の中で5番目に選ばれました。

キランはアムリトサルの聖心修道院学校に通った、そしてそれは彼女が国立カデット隊（NCC）に加わったことがここにあった。その後、彼女は政府女性大学、アムリトサルから英語で学士号を取得しました。その後、パンジャブ大学チャンディーガル大学で政治学の修士号を取得しました。インドの警察で積極的に勤務している間、Kiranは彼女の教育的な追求を続け、そしてデリー大学から1988年に法の学位（LLB）を取得しました。 1993年に、彼女は博士号を取得しました。彼女の論文の主題は「薬物乱用と家庭内暴力」であった。

Kiranは、Khalsa College for Women（Amritsar）で政治学の講師としてキャリアを始めました。 1972年、彼女はインド警察に加わり、ニューデリーの交通コミッショナー、反乱を起こしがちなミゾラム州警察の副検査長、チャンディーガル副知事、ナルコティクス統制局長の顧問に至るまで、多くの厳しい任務を受けた。彼女が国連メダルを授与された国連平和維持部の文民警察顧問。彼女はインディラ・ガンジー元首相の車を駐車違反でけん引したことで一般にクレーン・ベディと呼ばれています。 Kiranはインド警察サービスのいくつかの決定に影響を与えました、特に麻薬、交通管理とVIPセキュリティの管理の分野で。

刑務所監察官、ティハール刑務所、デリー（1993年 - 1995年）としての滞在中、彼女は刑務所の管理にいくつかの改革を加え、解毒プログラム、ヨガ、クレームの修正などのいくつかの措置を開始しました。囚人と識字プログラム。彼女は最後にインドの警察研究開発局の局長に任命されました。 2007年11月に、彼女は人生の新たな挑戦を引き受けるために自発的な退職をするという彼女の願いを表明した。

Kiranの他の興味は彼女が1972年にアジアの芝生テニス選手権そして1976年に全インド州間女子芝テニス選手権に勝ったテニスを含む。彼女は1987年に福祉と予防的警備のためにインドで2つのNGOを設立した。 1994年に刑務所改革、薬物乱用防止、および児童福祉のためのインドビジョン財団。

彼女は「それは常に可能です：インドの刑務所制度の1人の女性の変革」や「私はあえて！サボタージュからの自由とガンディアの道：私が警察長官であったなら」を含む多くの本の著者です。タイムズオブインディア、ナショナルデイリー、トリビューン、そしてラジオやテレビ番組の固定もしています。

彼女は大統領のGallantry賞（1979）を含む多くの賞を受賞しています。ウーマンオブザイヤー賞（1980）。アジア地域の医薬品予防管理賞（1991）行政サービスに対してRamon Magsaysay賞（1994）。マヒラシロマニ賞（1995）。マチスモ神父人道賞（1995）ライオンオブザイヤ（1995）; Joseph Beuys Award（1997）;イン

ドの誇り（1999）。社会正義のためのマザーテレサ記念全国賞（2005）。社会的不公正のためのアミティウーマンアチーバ□□2007□; Public Service Excellence Award□2007□□Zee Astitva Award□2007□□インド犯罪学会（2008）。プライドオブパンジャブ（2008）、女性エクセレンスアワード□2009□□Aaaj Tak□□人道的作品に対して野村賞（2013）。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988